

## 江田島訪問記

第 24 期 山縣 輝輔



この度関根市男副会長 (29 期) 企画で江田島研修旅行会に参加でき、非常に有益で誠に有難く厚く御礼申し上げます。

広島県の江田島と言っても若い同窓生にはピンと来ないのではないのでしょうか。おそらく私の年代以上の方か、身内や親戚に旧海軍軍人が居られた方、または身内か知人に自衛隊関係者がおられた方以外には、いまや遠くの興味のない世界のことかもしれません。広報委員会からのご指名ですので以下報告いたします。

江田島には戦前世界に冠たる日本海軍兵学校があり現在は海上自衛隊第 1 術科学校・幹部候補生学校があり、先人たちの偉徳をしのびつつ、後輩にいかにして伝統を語り継がれていくかを思いつつ江田島の第 1 術科学校を太田東京同窓会会長 (29 期)、関根副会長 (29 期)、金丸正さん (24 期) と私他計 6 名で 5 月 22 日早朝訪問しました。

当日は晴天に恵まれ早朝広島発江田島行きに乗船し第 1 術科学校に向かいました。手続終了後教官の案内で午前 8 時からの朝礼を見学し、在校生が国旗掲揚場前に整列し海将補袴田忠夫学校長 (能代高校 38 期) が定刻に到着。午前 8 時、ラッパの合図で国旗が厳かに掲揚され、国旗に向かい敬礼し、厳粛かつ整然とした中で国旗掲揚後学校長の訓示が行われ、わが国土を防衛するとともに、わが国周辺海域内における海上交通の安全確保するこ

との任務と使命感が伝わってき、感動しました。

その後、部隊指揮のもと学生に対し持ち物、服装、履物等の検査を行い、普段から規律ある生活をしているきりっとした学生の姿を拝見し、感銘を受けました。点呼後教室に戻る行進もチェックしていました。大講堂の前で記念撮影後、卒業式の予備練習している様子を拝見しながら袴田学校長の案内をいただき恐縮しました。

その後学校長と別れ、教官の案内で校舎、宿舎等を見学、規則正しく整然と整理されている様子に感心しました。中庭にある同期の桜の老木を拝見し「同期の桜」の歌を思い浮かべました。戦艦大和の砲弾、戦艦陸奥の高射砲を拝見、昭和 16 年 12 月 8 日真珠湾攻撃に参加した特殊潜航艇のうちの 1 隻を見て、昭和 17 年頃真珠湾攻撃に参加した岩佐中佐以下計 9 名の軍神の絵本を読んだ記憶がよみがえってきました。戦前、高松宮様が海軍兵学校時代、月曜日から土曜日までは学生と寝起きをともにし、日曜日と祭日に休息された住居跡を拝見、質素な家であったようです。

袴田学校長はご多忙にもかかわらず、学校の食堂で学生用の食事を一緒にいただき、会話も弾み有益な見学であったことにお礼を述べお別れしました。袴田学校長及び案内いただいた教官に厚く御礼申し上げます。

その後 7 月の中旬に北朝鮮のミサイル発射問題が発生、更に 7 月 10 日に山本五十六元帥の記念館と旧家を見学する機会を得て何かの因縁を感じました。

この機会に能代高校東京同窓会の会員の皆さん、知識人の一人として日本の国土及び日本人の安全について考え、自分の考えを整理してはと思います。

グローバリゼーションとナショナリズムとの間の調和と共存への道を探し求めて行かねばと思う今日この頃です。

